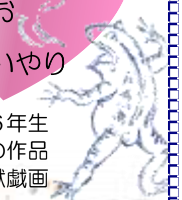
学校だより No.10
2024. 2.16

窓

福井市日之出小学校
令和５年度２月号

〒910-0859 日之出 5-11-1
Tel54-1551　Fax 54-1550
Email：hinod-e@fukui-city.ed.jp
URL：www.fukui-city.ed.jp/hinode-e/

あいさつ
いのち
うんどう
えがお
おもいやり



６年生
の作品
鳥獣戯画

インフルエンザを予防しましょう

今年も、学校の梅が咲き誇っています

学校保健委員会開催される

ホームページのブログでもお知らせしましたように、今年も学校保健委員会が行われました。学校保健委員会は児童が専門家や保護者とともに心身の健康についてテーマをもって考える機会です。今回の学校保健委員会は、「心の健康」をテーマに学校医の岩井和之先生とスクールカウンセラーの市橋直子先生を招き、PTA 母親委員の皆様にご参加いただき、児童と一緒に心の健康について考えました。

まず、児童の保健委員から、ストレスについて紹介がありました。全校児童を対象とするには難しい課題でしたが、劇やクイズを通して楽しく説明することで、低学年にも伝わりやすい内容でした。

校医の岩井先生からは、ストレスによって表れる体や心の反応についてのお話をいただき、市橋カウンセラーからは、ストレスを感じる前に日頃から、「自分で自分を褒める事」「物事をプラス思考で捉えよう」と教えていただきました。

各教室では、自分の良さを自分で見つめ直し、お互いに再発見するグループ活動を行いました。友達から自分では気づかないよさを伝えられた児童はとてもうれしそうな笑顔を浮かべ、それを伝えた児童もうれしそうな表情で話している様子は、とても微笑ましいものでした。児童の感想をホームページのブログに掲載していますので、是非ご覧ください。

日之出小学校では、令和４年度から「ポジティブ教育」に取り組んでいます。この取組は、日之出小学校に通う児童の近年の課題から、その必要性を感じ、続けて取り組んでいるものです。内容は、「ソーシャルスキルトレーニング」「ピアサポート」「レジリエンス教育」で構成され、人間関係をスムーズに築く方法や人との関わり方、困難なことに負けない物事の考え方などをゲームや話し合いなどから学んでいこうとするプログラムです。学校では、「廊下を走りません。」とは言いません。「歩きましょう。」と指導します。児童の行動を全否定ではなく、児童ができていることを認めながら肯定的で前向きな言葉をかけることを心掛けています。ご家庭でのお子様との関わり方の参考にしてください。

教育アンケート結果について

「教育アンケート」へのご協力ありがとうございました。本年度もフォームへの入力方式で、３年生以上の全児童、全ての学年の保護者の皆様にご協力をいただきました。その結果と考察の概要を報告させていただきます。このアンケートは成和中学校区４校で共有（一部は福井市全体で共有）し、協働して学校教育を進めています。

今年は、新型コロナウイルスの扱いが５類に移行したことに伴い、様々な活動が再開しています。その成果がアンケートにも表れ、近年の中でも全体的に「あてはまる」と回答する割合が高い結果となりました。しかし、活動が再開してきたからこそ見えてきた課題や、社会の変化に対する新たな課題も見られることから、この結果を真摯に受け止め、新しい令和の時代における、児童自身が評価を高めるための取組を充実させたり、保護者の皆様と教職員とが、いかに学習や生活の支援に当たるのかを考えたりする必要があります。

このアンケートは、各質問について「①あてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない」を選択する方法で行いました。

（１）児童アンケートで「あてはまる」が特に高かった項目は、「友達とは思いやりの気持ちをもって、協力して活動している」９７％、「みんなと何かするのは楽しい」９８％です。実は、コロナ禍のために活動が制限されていた期間も、この項目は高い評価を維持していました。児童にとっても大変な時期ではありましたが、ここで培われた心の成長が今もなお継続し、様々な活動とともに広がっているようです。この結果は、全世界がコロナという目に見えない敵と戦っている中でも、児童は怯え逃げているだけでなく、友達と協力しながら何をすべきか何ができるのかを探り、工夫し挑戦し続けていたのだと思い知らされます。その姿勢には、思いやりのあたたかな心がこめられていて、コロナで荒んだ大人の心さえも優しく癒してくれるようなすばらしいものです。これからもずっと続いていくことを願っています。また、「先生は一生懸命に教えてくれる」の項目も９７％を示し、教職員のやりがいを支えてくれています。これまで以上に、児童一人一人に合った教育の充実を目指し頑張っていきます。

（２）授業についての児童の評価は高く、「授業がよくわかる」「まなざしで聞く」「説明、発表」「めあてや課題に一生懸命に取り組む」「話し合い」「道徳」の項目については、全て９０％以上となっており、授業に対する児童の意欲の高さを感じさせられます。この結果を見ると、以前まではなかなか思うようにできなかったグループ等での友達のとの学び合いが、今年度になって実現する中で、新しい学習指導要領が示す「主体的・対話的な深い学び」に向けて、ようやく本格的に動き始めることができるようになり、その成果が表れ始めたことが分かります。

（３）課題としては、「宿題」をしっかりしている（９５％）反面、「宿題以外の自発学習」の評価が低い（６２％）ということが挙げられます。この課題は、例年、他の項目に比べて低い評価結果となっており、福井県全体の教育の課題でもあります。早いスピードで変化していくこれからの時代、自分で課題をみつけ、判断し解決していく力は大切です。学校からの家庭学習の課題には、「自分で進んでする勉強（自学）」がありますが、これには、機械的にノート１ページを埋めるだけではなく、自分に必要な課題を見つけてそれを解決するようなことに取り組んだり、自分が興味あることにとことん取り組んだりすることが大切です。やらされる学習ではなく、自らみつけ学ぼうとする力をつけることをめざしていきましょう。

（４）健康に関して、児童は「睡眠（早寝早起き）」については７５%、「運動」については７９%が「あてはまる」と回答しています。特に睡眠については、保護者アンケートの「あてはまる」８０%に比べても低くなっています。成長期の小学生にとって、睡眠は欠かすことのできない大切な時間ですので、学校と家庭とが睡眠の大切さを再確認し、児童の健康づくりについて考えていく必要があるでしょう。また、コロナ禍の中で免疫を高めるために、家庭で「バランスよい食事、適度な運動、休養と睡眠」に心がけてくださったことが、保護者アンケートを見ると、「栄養バランスよい朝食を毎朝食べるようにしている」の項目で６割の家庭で継続されていることが分かります。朝食をとることは小学校の成長期の児童には欠かすことができません。全国学力・学習状況の調査でも、朝食をしっかり摂る児童は学力も高いという結果が出ています。また、日之出小学校でも、朝から落ち着きがなかったり、学習に集中できなかったり、友達とトラブルを起こしやすかったりする児童の多くで、朝食を抜いていたりしっかりととっていなかったりするという事実があります。児童の健やかな成長のためには、ご家庭や地域の協力が欠かせません。どうぞ、よろしくお願いいたします。

（５）挨拶について、児童の「場に合った挨拶ができている」９１％に対し、保護者は８５％となっています。この保護者の皆様の見方は、教職員の印象と同じで、児童はもっと挨拶ができると期待しています。児童からだけでなく、大人からもどんどん挨拶を仕掛けていきましょう。

（６）ＩＣＴについては、家庭で使い方のルールを決めていないと回答した方が２５％いらっしゃいました。日之出小学校とPTA では「日之出っ子 スマートルール」を決めています。このルールと「お子様がインターネットを上手に使うために知ってほしいこと」（福井県教育委員会作成）のリーフレットを、学校のホームページに掲載していますので、是非ご覧いただき、家庭でのルール作りの参考にしてください。

（７）保護者の皆様からは、学校の取組（指導、相談、説明、安全対策、健康づくり、働き方改革）について、多くの肯定的な評価をいただきありがとうございます。今後、この評価を大切に受け止め、「ややあてはまる」を「あてはまる」にしていただけるよう、また、「あてはまらない」の理由を探りご理解いただけるよう、より信頼される学校をめざして取り組んで参ります。また、コロナ禍の中で得られた力を大切にするとともに、コロナ禍の影響で経験できなかったことにも目を向けながら、児童一人一人を大切にし、保護者の皆様とつながりながら教育に邁進していかなければならないと考えています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。